

林大の風

第48号 高知県立林業大学校

岡山研修

専攻課程では、8月4日・5日の二日間、岡山県内で視察研修を行いました。

1日目は、銘建工業株式会社にて、中島社長に林業の現状とCLTの有用性について講義をしていただきました。また、バイオマス事業部についても教えていただきました。その後、本社事務所・CLT工場と真庭バイオマス発電株式会社を見学させていただきました。



CLT工場では、最大サイズ3×12mのCLTパネルを量産する生産ラインを視察させていただきました。次に見学した真庭バイオマス発電株式会社で

は、これまで価値の無かったバーク（木の皮）・チップ・カンナ屑（CLT工場にて発生した物を含む）などを利用したバイオマス発電を行い、真庭市内に電力供給を行うとともに、CLT工場内の電力としても活用しているということでした。このような地域で森林の資源を有効に活用する取り組みはとても有意義であると感じました。

2日目に木造設計コースでは、岡山県と兵庫県、鳥取県の境にある西栗倉村のあわくら会館の視察をさせていただきました。あわくら会館は生涯学習施設と図書館、役場庁舎を併設した複合施設で、会議室や打ち合わせスペースを住民や企業が利用できる施設となっています。視察当日も会議室の利用者や図書館を利用する子どもたちがおり、賑わいを感じることができました。役場執務室等に採用されている「木造サスペントラス」はまきのさんの道の駅・佐川に隣接する「おもちゃ美術館」や清水高校でも採用されています。



本校の講師であり、この施設の企画や木材調達に関わったNPO法人サウンドウッズの安田さんに施設の説明していただきました。工事に先立ち木材調達が必要であることから「材工分離発注」としたことなど西栗倉村産材を活用するための工夫を聞くことができ、とても貴重な研修となりました。

